

「卒業証書授与式」の感動をともに!!

令和3年度の「卒業証書授与式」は、朴沢女子高校時代から数えて第74回目の式でした。感染症対策で、卒業生と一部の御来賓、職員だけの出席により、アトリウム（140メモリアル創志Plaza）での開催となりましたが、証書授与のクラスのみアトリウムのひな壇に移動して、担任による呼名を直接受けることができました。3科7コースを締めくくる学年であり、1年の3月からコロナ禍と抗ってきた苦勞と3年間の思い出が記された「卒業生式辞」（前生徒会長 市川 侃 作）を原文のまま紹介します。

《式次第》

- 1 開式の辞
- 2 国歌斉唱
- 3 卒業証書授与
- 4 理事長賞・学校長賞授与
- 5 校長式辞
- 6 理事長挨拶
- 7 祝辞（父母教師会会長）
- 8 来賓紹介・祝電披露
- 9 在校生送辞
- 10 卒業生答辞
- 11 校歌斉唱
- 12 閉式の辞

3年担任の先生方（前列）▼



《答 辞》

寒さもようやく和らいできました。行事の開催が困難な中、本日は工夫を凝らした卒業式を準備して下さい、感謝申し上げます。

3年前の入学式、新たな生活に想いを馳せ、緊張と期待に胸を躍らせていました。時代は平成から令和へと変わり、社会の変化も感じる頃でした。

しかし、私たちの高校生活は、新型コロナウイルスとの戦いの日々でした。1年次の3月、突然の一斉休校。授業再開後も行動は制限され、2年次は夏休みもほとんどなく、高総体を始め部活動の大会は中止が相次ぎました。修学旅行も中止。その後も繰り返す私達に襲いかかり、挑戦の機会を奪っていきました。

そんな中でもコロナに抗い、平成21年度からの調理科・介護福祉科・普通科7つの科コースの最後を締めくくる学年として、私たちは頑張ってきました。体操部やバスケットボール部の全国での活躍、ダンス部の活躍も心に残っています。介護福祉科の取り組みSDGs「服のチカラプロジェクト」も素晴らしいものでした。文化発表会では文化部の展示発表に加え、朴沢学園の裁縫教育142年の歴史を受け継ぐデザインアートコースのファッションショーが、有終の美を飾りました。

何年か後に思い返せば、きっと楽しい思い出ばかりになっているはずです。なぜなら、私たちは自分たちの創意と工夫で楽しいことを見つけてきたと思うからです。自分に対してポジティブな行動をすること、それが私たちなりのコロナへの抵抗でした。

また、人との関わりがどれほど大事で素晴らしいか、私たちはどの世代よりも実感しています。この経験を今後どう生かすか、それは私たち次第です。様々な機会を奪われた悔しさを忘れず、これからも精一杯前を向いて生きていくことが大事だと考えます。

就職する皆さん、社会では人との関わりが絶対に必要です。自分の考えをしっかりと持ち、信念を曲げずに進んでいきましょう。進学する皆さん、学生としての一瞬一瞬を全力で楽しみ、未来への力として下さい。今まで頑張ってきた皆さんに「頑張ろう」という言葉は取って置けません。生徒会でも限られた活動しかできませんでしたが、皆さんは少しのことでも楽しんで参加してくれました。この三年間を一緒に過ごせたことが私の誇りです。

在校生の皆さん、限りある高校生活を充実させ、自分の「好き」を未来につなげて下さい。

コロナ禍でもできる限りの楽しい授業展開をして下さった先生方。進路に向けて前向きになれるよう、何度も背中を押して下さい、ありがとうございました。

保護者の皆様には、学校での私たちの姿を見てもらうことが叶いませんでしたが、ただ感謝の気持ちを伝えたいと思います。今後、親元を離れる人が多くなります。ここまで成長させて下さり、ありがとうございました。

思い出深い旧校舎、そしてこの新校舎とも今日でお別れです。結びに、皆さんのご活躍と仙台大学附属明成高等学校のますますのご発展を願い、答辞といたします。

令和4年3月3日

たつき
卒業生代表 市川 侃

卒業証書の授与





理事長賞⇒
(9組 吉田 求)



← 学校長賞特別賞
(11組 坂口 芹)



学校長賞善行賞⇒
(10組 高橋唯・堀籠真央)



← 優等賞13名
← 皆勤賞20名
← 生徒会功労賞
4団体・個人23名
の体表生徒に!!



在校生送辞 (立花 晴)



卒業生答辞 (市川 侃)